

平成29年度 第2回 大阪市立常盤小学校 学校協議会 実施報告書

校名 大阪市立常盤小学校
校長名 三島 公徳

日 時	平成29年12月6日(水) 午後4時30分～午後6時00分		
場 所	大阪市立常盤小学校 多目的室		
出席者	委員など	坂口佳史(会長) 久森茂樹(委員) 福田雅史(委員) 藤田実由貴(委員) 高岡祥介(委員) 富田四郎(委員)	
	蔭山純子(委員)		
	校園	三島公徳(校長) 林真美子(副校長) 望月幹雄(教頭)	
議題	(1) 平成29年度「運営に関する計画」中間評価について (2) 「全国学力・学習状況調査」の結果について (3) その他		
協議要旨	協議の結果		意見の概要
	(1)	○取組内容、評価について了承された。	○道徳、人権教育の推進において、計画通り実施できている。また、防災減災教育の推進において、連合町会や区役所と連携したまちなか防災訓練への呼びかけなど、実施にあたり、取組を開始できた。より多くの参加が増えるよう、今後も相互に協力していく。 ○学力・体力向上については、教員の授業公開やICT活用のための研修も計画通り進んでいる。1200人を超える児童数では、タブレット端末などの台数も十分ではないが、工夫して授業に取り入れている。活用方法について、校内での研修を引き続き進めていく。 ○運動する時間については、「跳び箱週間」、「なわとび週間」など、取組内容を設定して運動時間の確保したり、運動場所と内容を工夫して段時間でも運動できるように努めている。
	(2)	理解を得た。	・平均正答率は全国・大阪市平均を上回っているが、国語「書くこと」や言葉の活用に関する点において課題が見られる。 ・家庭での学習時間の差がある。家庭の協力も得ながら、基礎基本を徹底的に教え込むことが大切。
	(3)	学校安心ルールについて、了承された。	・「ときわっ子の心得」肯定的、前向きな姿勢を育てるにはすばらしい。本校だけでなく、区・市全体の模範となるべきもの。幼少連携においても、子どもの立場に立った考え方肯定的な考え方での教育になるようつなげていきたい。
協議資料	○運営に関する計画 中間評価 ○全国学力・学習状況調査の結果 ○学校安心ルール 「ときわっ子の心得」		
備考	傍聴者[0]名		

